Noh Kyogen
KANZE KYUKOHKAI
9 January.2022(sun)
Yarai Noh Stage

観世九皐会

かんぜきゅうこうかい

一月定例会

令和4年1月9日(日)
於 矢来能楽堂

【第1部】12:30開演(12:00開場)
14:15終演予定

—客席入れ替え—

【第2部】15:30開演(15:00開場)
17:30終演予定

※第2部のみ前年と開演時間が変更となります。ご注意ください。

主催：公益社団法人 観世九皐会

文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

beyond 2020

感染予防にご協力をお願いいたします。

ご来場の際のお願い

- 体調不良の方は、当日でもご来場をお控え下さい。
- ご入場の際は必ずマスクをご着用ください。
- 入口にて手指のアルコール消毒と検温にご協力下さい。
- 37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
  （上記にご協力いただけない方には、ご入場をお断りいたします。）
- 上記にて入場不可となった方へは、ご事情を伺った上で、払い戻しをさせていただきます。チケットを半券ともにご保管の上、ご連絡下さい。

会場内でのお願いなど

- 喫茶室は閉室しております。場内でのお食事はご遠慮下さい。
- 場内のウォーターサーバーは、使用停止とさせていただきます。
- 水分補給のためのお飲み物は、ご持参ください。
- 換気のため、お席によっては空調が強く当たるところがございます。
  ご自身にて上掛け等をご持参ください。
- 出演者へのご面会、お差し入れは当面の間、ご遠慮ください。
- 矢来能楽堂のお手洗いは数が大変に限られております。なるべくご来場前にお済ませ頂き、ご利用の際は間隔をあけてお並びください。

上演にあたってなど

- 上演中も、マスクの着用をお願いいたします。
- 舞台上も出演者の感染予防対策を講じた形式での上演とさせていただきます。
- 公演の前後および休憩中には外気を入れ、会場内の換気をいたします。
- 場内換気のため、上演中もロビーとの扉は開けさせていただきます。
- 1部、2部とも続けてご覧になる方も、一旦退館をお願いいたします。
- 万一、来館者ならびに出演者・スタッフに感染が疑われる者が後日、発生した際は、所轄の保健所へご来場者様情報を提出させていただく場合がございます。

このほか、矢来能楽堂ホームページにて、「矢来能楽堂における感染予防措置」をご確認の上ご来場ください。
皆様の健康と安全を第一に考えて実施したしております。
ご不便をおかけすることもございますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

矢来能楽堂・公益社団法人　観世九皐会

全指定席（各部）
正面席 5,500円／脇正面・中正面席 4,400円
学生券(脇正面・中正面) 2,200円 ※学生券は26歳未満（要学生証）未就学児入場不可
1部2部通しセット（脇正面・中正面のみ）7,800円
矢来能楽堂のみ取扱い

〔注意事項〕
- 記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- 許可のない録音・撮影は一切禁止です。
- 携帯電話は電源からお切りください。
- 演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。
  場合によっては退場していただくことがございます。

新型コロナウイルスの感染状況や行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新等に伴い、内容に変更がでる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式ツイッターなどでも随時お知らせいたしますので、ご来館時などには必ずご確認いただきますようお願いいたします。

【お申込み・お問合せ】
矢来能楽堂・観世九皐会
電話：03-3268-7311　FAX：03-5261-2980
メール：yarai@eos.ocn.ne.jp
http://yarai-nohgakudo.com/

カンフェティチケットセンター
（WEB予約後セブンイレブンで発券）
電話：0120-240-540

能・狂言
観世九皐会
矢来能楽堂
162-0805 東京都新宿区矢来町60

表紙写真「白式尉」撮影：青木信二

能楽書林

権藤芳一著
『能楽手帖』
簡潔な解説で携帯にも便利な能楽鑑賞事典。見開き一曲で、上演頻度の高い一三〇曲を厳選して収録。曲ごとに、あらすじ・みどころ・作者・素材・各流の小書きなどが書かれ、観能の手引きに最良の書。巻末に用語解説も付す。
新書判・三〇二頁
本体一四〇〇円＋税

柳沢新治著
『横からみた能・狂言』
長年、NHKの能楽放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送うらばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」、心に残る人々との思い出の随想「出会いと別れ」、能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。
四六判・二一三頁
本体一〇〇〇円＋税

ご注文・問合せ
㈱能楽書林　九段下駅徒歩すぐ
☎ 03—3264—0846
FAX 03—3264—0847
メール shorin@mercury.plala.or.jp

観世九皐会 一月定例会

令和四年一月九日（日） 於 矢来能楽堂

【第一部】十二時三十分開演（正午開場）

番組

翁 *Okina*

翁 佐久間二郎
三番三 大藏 教義
千歳 坂 真太郎
面箱 上田 圭輔
大鼓 原岡 一之
胴脇 住駒 匡彦
頭取 飯田 清一
笛 栗林 祐輔
手先 森 貴史

後見 鈴木 啓吾
後見 観世 喜之

石井 寛人
観世 喜正
地謡 永島 忠侈
弘田 裕一
小島 英明

狂言後見 大藏吉次郎
狂言後見 大藏 基誠

――休憩十五分――

（午後一時四十五分頃）

狂言 宝の槌 *Takara No Tsuchi*

シテ 大藏彌太郎
アド 善竹大二郎
アド 大藏吉次郎
後見 吉田 信海

（終演予定 午後二時十五分）

【第二部】午後三時三十分開演（午後三時開場）

番組

屋島

中森健之介

仕舞 東北

観世 喜之

花月

弘田 裕一

――休憩五分――

（午後三時五十分頃）

能 繪馬 *Ema*

手力雄命 中所 宜夫
天鈿女命 河井 美紀
前ツレ 新井麻衣子
シテ 遠藤 喜久

ワキツレ 矢野 昌平
ワキ 福王 和幸
ワキツレ 村瀬 慧
大藏 基誠
間 吉田 信海
小梶 直人

後見 遠藤 和久
後見 駒瀬 直也

大鼓 亀井 広忠
小鼓 幸 正昭
笛 松田 弘之
大鼓 大川 典良

桑田 貴志
地謡 永島 充
地謡 中森 貫太
奥川 恒治
長山 耕三

附祝言

金子仁智翔
地謡 桑田 貴志
地謡 小島 英明
奥川 恒成

（終演予定 午後五時三十分）

《あらすじ》

翁（おきな）

古来より神聖視されてきた曲であり、能の源流ともいえる。戯曲的な構成はなく、一曲を通して儀式性が重視されている。まず千歳が露払いとして躍動的な舞を舞う。それを受けて翁が御祈祷として翁舞を舞い、萬歳楽を唱える。そして三番三が五穀豊穣を願う「揉之段」と「鈴之段」を舞う。天下泰平・五穀豊穣・国土安穏・千秋万歳を祝う、新年にふさわしい演目である。

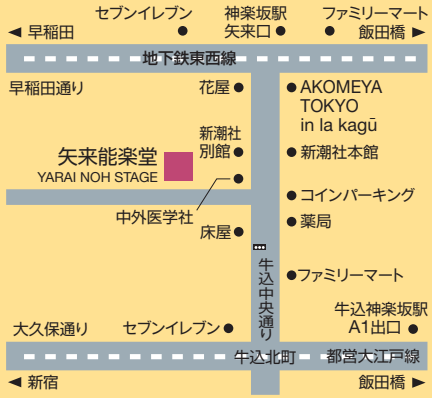
狂言 宝の槌（たからのつち）

主人にお宝を買ってくるよう命じられた太郎冠者。都をあてもなく歩いているところにすっぱが目を付け、ただの太鼓の撥を打出の小槌だと言って売りつける。冠者は主人の元へ帰り、意気揚々とその撥を振るが…

能 繪馬（えま）

天皇の臣下が勅を受けて伊勢神宮へ旅立ち、斎宮に着いた。折しも節分の夜、斎宮では絵馬を掛けて明年を占う神事があるという。絵馬を持って現れた老人夫婦は、日照りを占う白絵馬と雨を占う黒絵馬、両方の絵馬を掛けることにする。それから夫婦はその正体を伊勢二柱の神であると明かして姿を消す。

そこへ蓬莱より鬼がやってきて、宝を天皇に捧げて帰っていくと、やがて日の出とともに天照大神が天鈿女命(あめのうずめのみこと)と手力雄命(たちからをのみこと)を連れて現れ、天岩戸の神話を再現して見せる。



地下鉄東西線神楽坂駅 矢来口より徒歩2分
都営大江戸線牛込神楽坂 A1出口より徒歩5分
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。